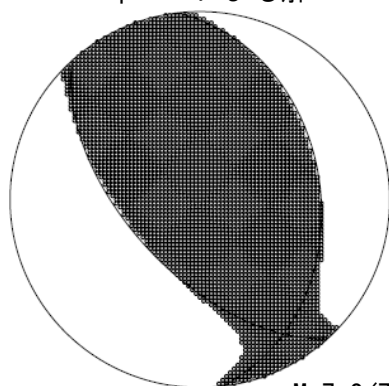


8月10日 バヌアツ諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

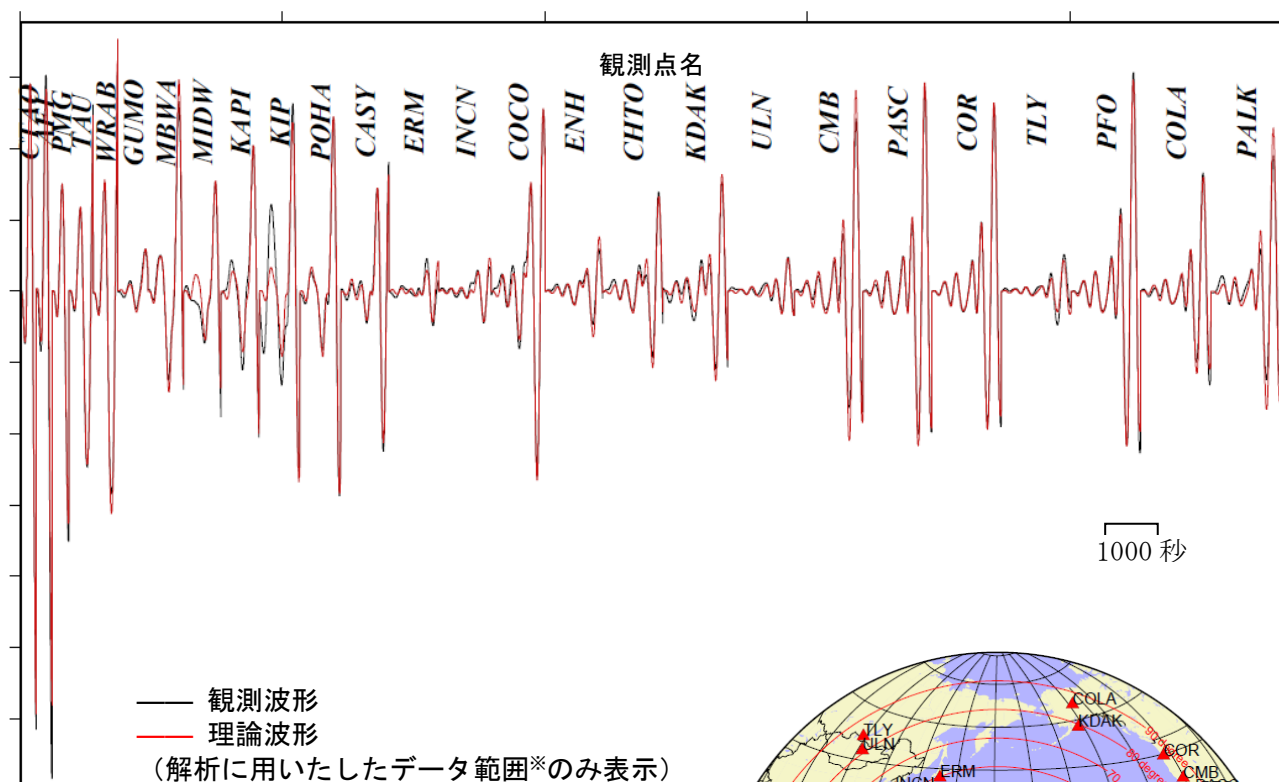


Mw7.2 (7.23)

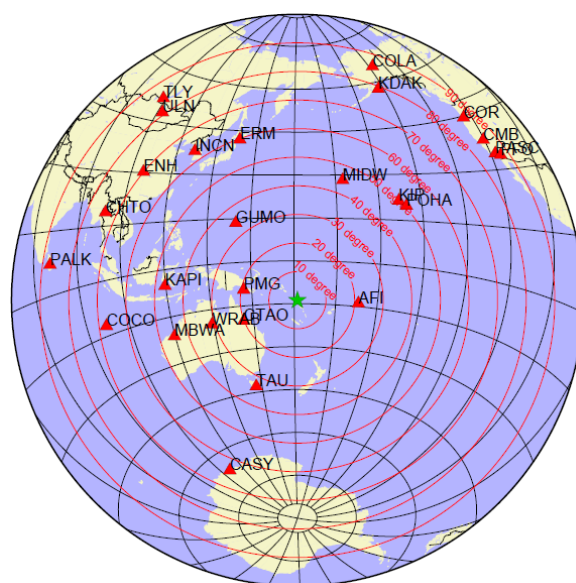
2010年8月10日14時23分(日本時間)にバヌアツ諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMTなどの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは7.2であった。最適位置はS17.7°, E167.4°となった。

W-phaseの解析では、震央距離20°~90°までの26観測点の上下動成分を用い、200~500秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用しました。記して感謝します。